

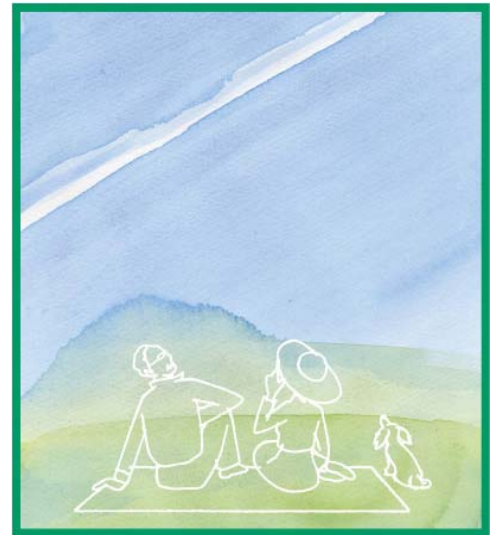
ひこうき雲

【ハートフォード生命保険株式会社の変額個人年金保険Ⅱ型2003】
特別加算金付最低保証年金特約1510型

株60型

特別勘定の月次運用レポート 2012年4月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート



お客さまが負うことになる投資のリスクについて

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

変額個人年金保険に含まれる手数料などについて

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- 解約、一部解約（特別払戻を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
*この商品にかかる費用は、以下の「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費）」の合計となります。また、特定のお客さまには「解約手数料」がかかります。
- 保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、積立金額に対して年率2.36%の割合で積立金額から毎日控除されます。
- 運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して年率0.5250%（税抜0.500%）程度（ファンドが投資する投資信託の信託報酬（信託財産に対し年率0.1155%（税抜0.11%））とその投資信託の投資する各投資信託の信託報酬（信託財産に対し上限年率0.4725%（税抜0.45%））を組み合わせたものです。）の割合で信託財産から毎日控除されます。上記の信託報酬に加えて、信託事務に要する諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の諸経費がかかります。なお、これら運用関係費用は、各投資信託の組入比率や運用状況によって異なりますので、具体的な金額や計算方法を記載しておりません。また、これらの費用はファンドがその保有資産から負担しており、公表されるユニットプライスはこれらの費用を控除した後のものです。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
- 年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
- 解約手数料：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別払戻を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～3%の割合で解約日の積立金額または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちのいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。
！詳しくは、商品パンフレット、「契約締結前交付書面（契約概要・注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款／特別勘定のしおり」等をご覧ください。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

【引受保険会社】 ハートフォード生命保険株式会社

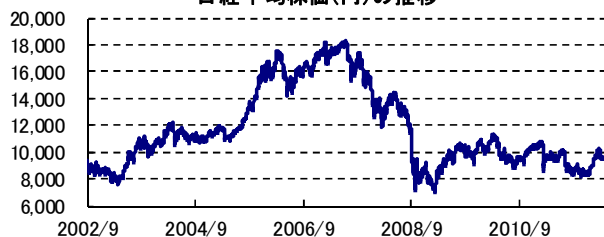
本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。

ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

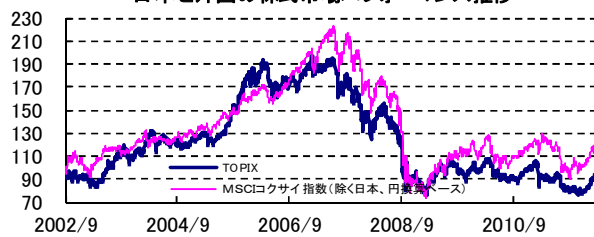
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.58%	8.16%	5.92%	▲ 3.34%	7.85%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 5.86%	6.49%	5.26%	▲ 5.59%	▲ 4.00%
日本債券	NOMURA-BPI	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 1.80%	11.29%	8.23%	▲ 6.98%	24.00%
外国債券	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	▲ 2.68%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 1.22%	6.30%	4.42%	▲ 1.08%	▲ 16.97%

日経平均株価(円)の推移

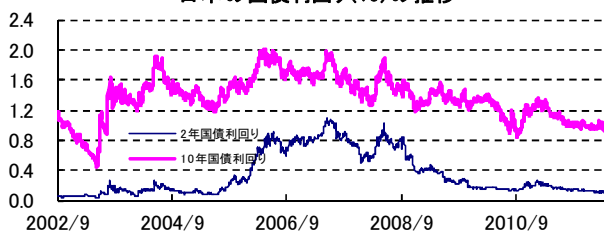


日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

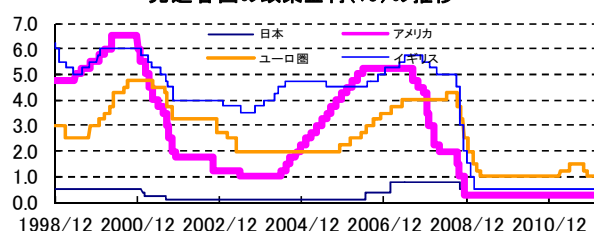


* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

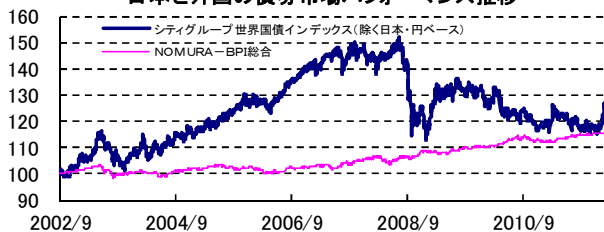
日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

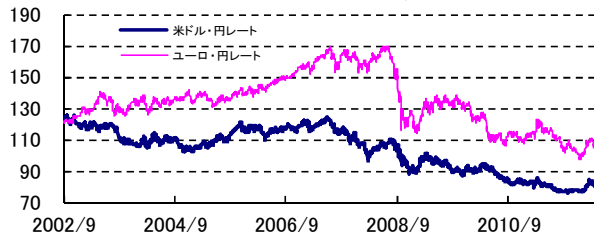


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村証券株式会社によって計算、公表されている、野村証券株式会社の知的財産です。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。

【日本株式市場】

4月の日経平均株価は、日本経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことなどから、前半は大きく下落しました。その後も欧州債務問題への不安が広がったことによる投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調が続き、前月末より563円安の9,520円で取引を終了しました。

【日本債券市場】

新発10年国債利回りは、序盤こそ上昇する局面も見られましたが、依然として欧州債務問題への不安が拭えていないことや市場が日銀による更なる金融緩和を期待していたことなどから、低下基調が続き、前月末比低下の0.8%台後半で月末をむかえました。

【外国株式市場】

NYダウは、雇用統計の結果などを受け軟調に推移しましたが、好調な企業業績に支えられ月末にかけて持ち直す動きがあり、前月末とほぼ同じ13,213ドルで取引を終了しました。独株式市場は、スペインを含む欧州各国の債務問題の再燃があり、前月末を下回り取引を終了しました。

【外国債券市場】

米10年国債利回りは、欧州債務問題だけではなく世界景気にも先行き不透明感が高まったことで月を通じて低下基調が続き、前月末を下回り月末をむかえました。独10年国債利回りは、欧州内での資金逃避先として選好される動きが強まり、前月末を下回り月末をむかえました。

【外国為替市場】

米ドルは、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから、円高基調が続き、前月末比円高の1ドル=81円台前半で月末をむかえました。ユーロは、欧州債務問題への不安感などから売られる動きが続き、前月末比円高の1ユーロ=107円台前半で月末をむかえました。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
世界アセットR1 SS	●	●	●	●	ステート・ストリート・ 世界バランス60VA *	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ株式会社	98.0%	2.0%	3,908

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
ステート・ストリート・ 世界バランス60VA *	日本を含む世界の株式及び公社債を主要投資対象とする投資信託証券に主として投資することにより分散投資を行います(ファンド・オブ・ファンズ)。株式と債券の実質的な基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.29%	4.41%	3.80%	-2.41%	14.14%	-16.00%

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットR1 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート・世界バランス60VA<適格機関投資家限定>

【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。主に投資信託証券*「SG 日本株式インデックスVA(適格機関投資家専用)」、「SG 日本債券インデックスVA(適格機関投資家専用)」、「CA外国株式ファンドVAH(適格機関投資家限定)」および「CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)」を通じて投資が行われます。*「投資信託証券」とは、証券投資信託の受益権または受益証券(マザーファンド受益証券を除きます。)及び証券投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。

運用方針

日本を含む世界の株式及び公社債を主要投資対象とする投資信託証券に主として投資することにより分散投資を行います(ファンド・オブ・ファンズ)。株式と債券の実質的な基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

作成基準日: 2012年04月27日

当ファンドはファンド・オブ・ファンズで運用を行い、実質的に国内外の株式及び公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各投資信託証券は、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

SG 日本株式インデックスVA:「東証株価指数(TOPIX)」
 SG 日本債券インデックスVA:「NOMURA-BPI(総合)」
 CA外国株式ファンドVAH:「MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)」*
 CA外国債券ファンドVAT:「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」

*当ファンドはCA外国株式ファンドVAH受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドでのベンチマークは「MSCIコクサイ・インデックス(円ヘッジベース)」となります。

ファンドの状況

		前月末比
基準価額	9,559円	-110円
純資産総額	3,832百万円	-59百万円

※1) 基準価額は信託報酬控除後です。

※2) 純資産総額は百万円未満四捨五入

基準価額の騰落率と推移

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.14%	-0.22%	5.10%	5.10%	-0.09%	22.96%	-4.41%
参考指数	-1.20%	-0.39%	4.84%	4.86%	-1.00%	20.93%	-8.41%
差	+0.07%	+0.17%	+0.26%	+0.25%	+0.91%	+2.03%	+4.00%

(注)参考指数は、当ファンドが組入れている各資産(マザーファンド)のベンチマーク 収益率に、各基本配分比率を乗じて算出したものです。ただし、外国株式については「MSCIコクサイ・インデックス(円ヘッジベース)」を使用しております。

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
SG日本株式ファンド	9.6%	10.0%	-0.4%
SG日本債券ファンド	14.9%	15.0%	-0.1%
CA外国株式ファンド	49.4%	50.0%	-0.6%
CA外国債券ファンド	24.8%	25.0%	-0.2%
コール他	1.3%	0.0%	1.3%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対投資信託財産総額比

◇4月の市場動向◇

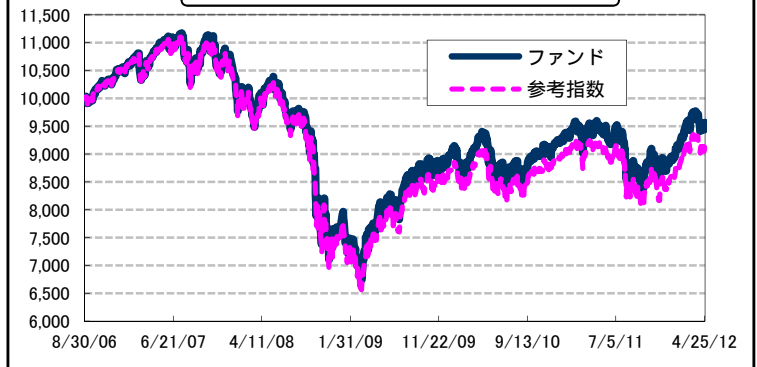
【国内株式】4月の国内株式市場は、南欧各国の財政再建の遅れに対する警戒感からリスク回避の動きが強まり、下落基調となりました。前月までの円高修正が一服したことも重石となりました。

【国内債券】4月の国内債券市場は、経済指標が強弱交錯する中、中国の景気減速懸念や欧州債務懸念の再燃、月末の日銀による追加金融緩和策を受けたことが日本国債の買い材料となりました。日本10年国債利回りは前月末から0.09%低下の0.90%となりました。

【外国株式】4月の海外株式市場は、下げ先行の展開となり月間では多くの市場が下落しました。その結果、米S&P500指数は5か月振り、独DAX指数は4か月振りに月間の騰落率がマイナスとなった一方、3月に下落した香港ハンセン指数は反発しました。株式市場は月の前半に欧州債務懸念の再燃や景気減速を示唆するマクロ指標などにより下落しましたが、米アップル社などが下旬に公表した好調な企業決算により下げ幅を縮小しました。

【外国債券】4月の海外債券市場は、米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録で米国景気の改善が示唆されたものの、経済指標が軟調であることに加え、欧州債務懸念が再燃したことを受けて米国債は買われる展開となりました。米国10年債利回りは前月末から0.30%低下の1.91%となりました。

設定日を10,000として指数化



・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットR1 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート・世界バランス60VA<適格機関投資家限定>

【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。主に投資信託証券「SG 日本株式インデックスVA(適格機関投資家専用)」、「SG 日本債券インデックスVA(適格機関投資家専用)」、「CA外国株式ファンドVAH(適格機関投資家限定)」および「CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)」を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を含む世界の株式及び公社債を主要投資対象とする投資信託証券に主として投資することにより分散投資を行います(ファンド・オブ・ファンズ)。株式と債券の実質的な基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

主たる投資対象となる投資信託の運用状況

作成基準日: 2012年04月27日

●SG 日本株式インデックスVA (運用会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

ファンドの特色:

1. ファンドは、「リソナ・日本株式インデックス・マザーファンド」を主要投資対象とします。
2. マザーファンドへの投資を通じて東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目標として運用を行います。なお、わが国の株式等に直接投資することもあります。
3. 運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引等を活用することがあります。このため株式の実質投資総額と株価指数先物取引等の買建玉の実質投資総額の合計額が信託財産の純資産総額を超えることがあります。
4. 組入対象銘柄は、マザーファンドにおける組入銘柄を含め、主として東京証券取引所第一部上場株式としますが、東京証券取引所

【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-5.88%	7.53%	6.41%	-3.70%	0.92%	-45.64%
参考指数	-5.86%	7.66%	6.54%	-3.36%	1.97%	-44.34%
差	-0.02%	-0.13%	-0.14%	-0.35%	-1.05%	-1.30%

【組入上位銘柄】

(組入銘柄数:1,609銘柄)

銘柄名	業種	純資産比
トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.5%
本田技研工業	輸送用機器	2.2%
キヤノン	電気機器	2.0%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.7%

●SG 日本債券インデックスVA (運用会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

ファンドの特色:

1. ファンドは、「リソナ・日本債券インデックス・マザーファンド」を主要投資対象とします。
2. マザーファンドへの投資を通じてNOMURA-BPI(総合)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
3. 運用の効率化をはかるため、債券先物取引等を活用することがあります。このため公社債の実質投資総額と債券先物取引等の買建玉の実質投資総額の合計額が信託財産の純資産総額を超えることがあります。
4. ファンドおよびマザーファンドはNOMURA-BPI(総合)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。組入対象銘柄は、

【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.51%	0.63%	1.28%	2.60%	6.54%	11.77%
参考指数	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%	13.88%
差	-0.01%	-0.06%	-0.20%	-0.47%	-1.10%	-2.11%

【組入上位銘柄】

(組入銘柄数:131銘柄)

銘柄名	クーポン(%)	償還日	純資産比
第320回利付国債(10年)	1.0	2021/12/20	2.8%
第102回利付国債(5年)	0.3	2016/12/20	2.2%
第313回利付国債(10年)	1.3	2021/3/20	1.9%
第312回利付国債(10年)	1.2	2020/12/20	1.9%
第299回利付国債(10年)	1.3	2019/3/20	1.9%

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットR1 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート・世界バランス60VA<適格機関投資家限定>

【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。主に投資信託証券「SG 日本株式インデックスVA(適格機関投資家専用)」、「SG 日本債券インデックスVA(適格機関投資家専用)」、「CA外国株式ファンドVAH(適格機関投資家限定)」および「CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)」を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を含む世界の株式及び公社債を主要投資対象とする投資信託証券に主として投資することにより分散投資を行います(ファンド・オブ・ファンズ)。株式と債券の実質的な基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

主たる投資対象となる投資信託の運用状況

作成基準日: 2012年4月27日

●CA外国株式ファンドVAH (運用会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

ファンドの特色:

- CA外国株式マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
- MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、エクスポージャーの調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

* MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の主要国で構成される株価指数です。なお指数構成国は、定期的に見直しが行われ、変更されることがあります。MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(ドルベース)を基にアムンディ・ジャパン株式会社が独自に円換算したものです。

【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.83%	11.87%	9.55%	-5.35%	31.44%	-22.95%
ベンチマーク*	-1.58%	12.00%	9.44%	-4.82%	32.28%	-22.64%
超過収益	-0.25%	-0.14%	0.12%	-0.53%	-0.84%	-0.31%

* ベンチマーク(MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース))のパフォーマンスは、ステート・ストリート・世界バランス60VAの設定日(2006年8月30日)前日を起算日としてアムンディ・ジャパン株式会社が独自に計算したものです。

【組入上位銘柄】

(組入全銘柄数:1,204銘柄)

銘柄	国名	業種	比率
APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.45%
EXXON MOBIL	アメリカ	エネルギー	1.79%
MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.04%
IBM	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.03%
CHEVRON	アメリカ	エネルギー	0.92%

* 国名はMSCI分類で区分しております。
* マザーファンドの純資産総額対比です。

●CA外国債券ファンドVAT (運用会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

ファンドの特色:

- CA外国債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
- シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、エクスポージャーの調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティグループが開発した、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

【ファンドのパフォーマンス】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.22%	7.10%	4.78%	1.05%	-4.96%	-8.62%
ベンチマーク*	-1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	-2.68%	-6.38%
超過収益	0.05%	0.15%	-2.31%	-0.11%	-2.28%	-2.24%

* ベンチマーク(シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))のパフォーマンスは、ステート・ストリート・世界バランス60VAの設定日(2006年8月30日)前日を起算日としてアムンディ・ジャパン株式会社が独自に計算したものです。

【組入上位銘柄】

(組入全銘柄数:110銘柄)

銘柄	クーポン	償還日	国名	比率
米国国債	5.125%	2016/5/15	アメリカ	8.12%
米国国債	1.875%	2014/4/30	アメリカ	8.06%
米国国債	4.250%	2014/11/15	アメリカ	5.07%
米国国債	4.500%	2039/8/15	アメリカ	4.10%
米国国債	3.125%	2021/5/15	アメリカ	4.01%

* 国名は発行国で区分しております。
* マザーファンドの純資産総額対比です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。*特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。*各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。*投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。